

オリンピック・パラリンピック関連施設に 国産材を利用するメリット

① 地球温暖化防止、循環型社会形成など環境貢献をアピール。

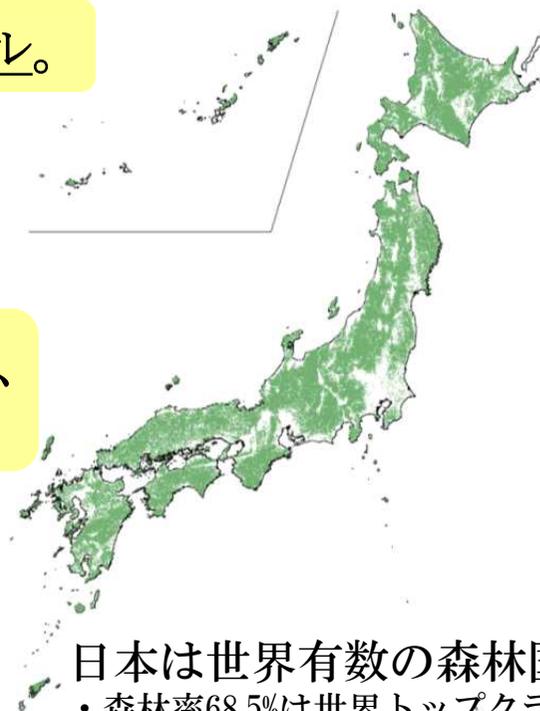
（ スギ1万m³を使用したとすると、
約6200tの二酸化炭素を固定する効果。 ）

② 高い断熱性や吸湿機能を有するなど人にやさしい木材で、
国内外からの選手や観光客に快適な空間を提供。

（ 木質空間は、健康面や心理面によい影響を与える。 ）

③ 林業再生で地域活性化、そして東北の復興にも貢献。

（ 国産材が利用されることにより、地域に雇用を生み、
山村の活性化や森林の適切な整備及び保全に繋がる。 ）



日本は世界有数の森林国。
・森林率68.5%は世界トップクラス。
（世界平均：31%）

データ出典：Global Forestry Resources
Assessment 2010（FAO）

国産材を利用した施設で、「木づかい」のおもてなし！

日本の高い技術力、木の伝統・文化など日本らしさを世界にアピール

木材利用の推進に向けた課題

供給体制

- 量・品質・納期
 - 森林認証材 ?
- ↔ コスト

木材利用のメリットのPR

- 環境にやさしい
- 人にやさしい
- 地域経済の活性化

課題の克服

○ 東京大会の遺産(レガシー)

ハード(施設)、ソフトの両面において、

→ 都市の木造化・木質化、木づかい運動の拡大 など